

日本価値創造 ERM 学会第 14 回研究発表大会開催のご案内

1. 開催日時：2020年9月8日（火）10:00～19:00 / オンライン開催

（*本年はコロナ禍の状況を踏まえ、オンライン開催とします）

2. 参加資格：

- 「研究報告」の部は会員限定とし、個人会員・法人会員（3名まで）は無料で参加いただけます。
- 「特別招待講演」の部は当学会主催セミナー参加者の皆様など、非会員の皆様にも無料で参加いただけます。

3. 参加登録：

- **個人会員・法人会員の方は**、以下のアドレスから参加登録してください。
<https://www.javcerm.org/rpc14/verifyemail.php>
 - ・ 参加登録は、この案内メールをお届けしましたアドレスでお申し込みください。
 - ・ 別のアドレスから大会参加をご希望の場合には、申込時にお知らせください。
- 法人会員で複数名申し込みの場合
 - ・ 本案内メールを差し上げました法人会員登録の代表者からお申し込みください。
 - ・ 最大3名まで登録いただけます（追加、削除可能です）。
- **非会員の方は**、以下のアドレスから参加登録してください。
<https://www.javcerm.org/rpc14/verifyemail.php>

4. その他

- 参加申込みの登録が完了次第、受付完了のメールが届きますので、ご確認ください。
受付完了メールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。
- オンライン参加のためのアドレス、予稿集等のダウンロードのためのアドレス（会員のみ）は9月4日までにご連絡いたします。
- 定員になり次第、締め切る事がございます。ご了承下さい。

現在、非会員の皆様には、研究発表大会を機会に入会ご検討いただければ幸いです。

<日本価値創造 ERM 学会 個人会員入会フォーム>

<https://www.javcerm.org/application>

※ 「研究報告」の部を含む全体の大会参加のためのご入会の場合は、事務手続きの関係上、8月31日までに年会費の振込み完了いただきますようお願い申し上げます。

第 14 回日本価値創造 ERM 学会 研究発表大会プログラム

開催日時：2020年9月8日(火) 10:00 - 19:00 / オンライン開催

10:00-10:10 総合司会 副会長 太田 洋子 (野村證券)
開会挨拶 会長 三宅 将之 (日本工業大学)

10:10-12:00 研究報告 A：価値創造とERM 経営 I (各 25 分) 座長：三宅 将之 (日本工業大学)

- ① 「非財務的価値向上による社員の働きがい向上とサステナビリティ経営について」
野村 宗史、越野 曜 (キューブシステム)
- ② 「設計と製造をデジタルでつなぐ～原価 PDCA の実践～」
志村 健二 (ビジネスエンジニアリング)
- ③ 「サプライチェーンにおけるセキュリティリスクと対策」
飯田 恒雄 (日立製作所)
- ④ 「地方老舗旅館の価値創造戦略」
新堀 毅 (中小企業診断士)、近山 俊也 (長野ホテル犀北館)

12:00-13:00 休憩 (昼食時間)

<12:30-13:00 理事・評議員会>

13:00-14:50 研究報告 B：価値創造とERM 経営 II (各 25 分) 座長：王 京穂 (明治大学)

- ① 「大企業におけるミドル・シニア層のキャリア発達についての一考察」
榎並 重人 (第一生命経済研究所)
- ② 「再保険業界における ERM と ROE マネジメント」
曾我 晃久 (トーア再保険)
- ③ 「デジタルトランスフォーメーションを支えるリスクマネジメント」
藤本健 (Ridgelinez)
- ④ 「ERM における戦略リスクと組織体制」
大森勉 (関西大学/鳥飼総合法律事務所)

14:50-15:00 休憩

15:00-16:50 研究報告 C : ERMと金融 (各 25 分) 座長 : 砂川 信幸 (京都大学)

- ① 「プレミアム品購買データから読み解く消費者心理」
田代 大悟 (野村証券)
- ② 「劣後ローン・劣後債発行が 当該企業株価に与える実証分析」
中山 健悟 (京都大学)
- ③ 「内部統制不備事象に対する株式市場の反応と内部統制開示情報の有用性」
瀧澤 創 (京都大学)
- ④ 「金融リテラシー向上政策に係る一考察 ~人材マネジメントの視点から~」
梶原 真紀(みずほ証券)、郭 チャリ(手塚山大学)

16:50-17:20 休憩

17:20-18:50 特別招待講演

「コロナ危機の経済政策」

小林 慶一郎 (東京財団政策研究所研究主幹)

新型コロナウイルス感染症との闘いは長期化し、行動自粛と経済再開の繰り返しでは、経済社会が持続可能ではない。感染症検査を拡充し、幅広い接触者の行動調査で感染者を早期発見し、待機療養施設に困り込む積極的な感染防止の政策対応が求められる。こうした政策実現に向けた現状と課題を論じる。

感染症危機の長期化にともなって、産業構造や働き方も変わりつつある。人との距離が気になり、手指の清潔に気を付ける日常。飲食業や観光業は産業規模として縮小し、他方でオンラインサービスの新ビジネスが生まれると見込まれる。多くの職業でテレワークが働き方の基本形として浸透し、居住と就業先が地理的に分散するかもしれない。

社会保障や財政再建の新しい課題も含め、予想される産業と社会の構造変化について論じる。

モデレーター 名誉会長 川北 英隆 (京都大学)

18:50-19:00 閉会挨拶 副会長 吉野 太郎 (東京ガス)